

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 慶應義塾高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒223-0061  
横浜市港北区日吉4-1-2

E-mail : info@hs.keio.ac.jp

Website : http://www.hs.keio.ac.jp/

児童生徒数：男子 2158名 女子 0名 合計 2158名 (2014年4月時点)  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

##### (1) 国際交流

慶應義塾高等学校は2018年に開校70年の節目を迎えるにあたって、ソフト面、ハード面双方からの改革に取り組んでいます。そのひとつが留学しやすい制度の促進です。

慶應義塾全体としては、慶應義塾の高等学校4校から優秀で志のある生徒を選抜し、米英両国の名門ボーディングスクール（寄宿学校）に派遣する制度を創設しました。派遣される生徒が、世界中から集まる優秀な生徒達と切磋琢磨してグローバル人材として成長することを期待しています。

慶應義塾高等学校独自の留学制度としては、イギリスではキングス・カレッジとの短期交換留学制度が軌道に乗り始め、生徒・教員ともにホスト・ファミリーを通じて、交流を深めています。

プナハウスクール（アメリカ・ハワイ州）との交換留学は45年以上継続し、外国語学習の他に、授業やホストファミリーとの交流を通して、双方の伝統文化から現代の文化まで幅広く触れるシステムが根付いています。

その他アメリカ本土との本校独自の留学提携校を模索中で、教職員を積極的に派遣し、生徒の国際交流の機会確保に努めています。

現状のカリキュラムや単位制度においても改革に着手し、生徒が留学に踏み切りやすい制度設計に取り組んでいます。

ユネスコ・スクールの留学や国際交流（パリ・ドイツ／カンボジア／トビタテ留学ジャパン・プログラム）の機会の周知徹底にも努め、残念ながら今年度の参加者はおりませんでした。国際交流に関心のある生徒の機会確保に努めております。

